

## 不動産業界の俊英

## 夢と大志の共有で成長

(長州藩倒幕運動)の精神的支柱といわれた吉田松陰は、門弟たちを絶対に弟子扱いしなかった。同一目標に向かって精進する同志として門弟に接した。たった二間の松下村塾から、高杉晋作、久坂玄端、伊藤博文、山県有朋ら、維新四天の事

業を担う俊英が雲の如く輩出したのは、松陰と夢を共有した弟子たちの熱い感動が原動力となった。社員をその気にさせるトップがいて組織は活性化するものだ。

アレグリアシティ(株)代表取締役・嶋田 男士氏は、自社で多くの営業社員を抱え

ずとも、かつての部下や後輩達が立ち上げた約30社の不動産会社と業務提携し、各社の持ち味を生かした不動産ビジネスを展開。まさにそうした夢の共有と高い志の一致が、着実に実績を積み上げている要因だ。嶋田氏の長年の豊富な経験に裏打ちされた卓越した不動産ノウハウと物件に対する目利きの鋭さ、そして密度濃い人脈を駆使した独自の「仕入れ」を強みとして、その成長軌道も高い。現在、資産運用型の収益不動産と、

居住用不動産の二本柱に加え、販売戸数の増加に伴い、物件の管理業務の需要も増加。分譲するマンションは、新耐震基準のクリアは勿論のこと、駅から数分の好アクセスと上層階の居室に限定するというこだわりぶりだ。今年2月には自社マンションブランド「アレグリアコート」第1号を完成させ、短期間で完売。第2号、第3号と計画を進め、資産形成のパートナーとしての力強い歩みが続いている。

新宿区新宿2・2・7